

2007年3月期 決算説明会

2007年4月27日

NECリース株式会社

目 次

1. 2007年3月期実績報告

- 業績概要
- 事業別売上高・売上総利益
- 事業別契約実行高
- 機種別賃貸事業契約実行高
- 事業別営業資産残高
- 不良債権の状況
- 資金調達の状況

2. 2007年3月期のハイライト

- 経営環境
- 2007年3月期の成果

3. 2008年3月期計画

- 業績予想
- 中期計画の現状と今後の方向性
- 配当予想

会社概要

1. 2007年3月期実績報告

■ 業績概要

(単位: 億円)

	2006/3期	2007/3期	
			前年比
売上高	2,653	2,657	0.2%
経常利益	90	70	-22.1%
当期純利益	53	41	-23.2%
1株当たり当期純利益	246円23銭	189円21銭	
営業資産残高	6,680	6,828	2.2%
純資産	561	593	5.7%
自己資本比率	7.7%	8.1%	
1株当たり配当金	40円00銭	44円00銭	

(億円未満四捨五入)

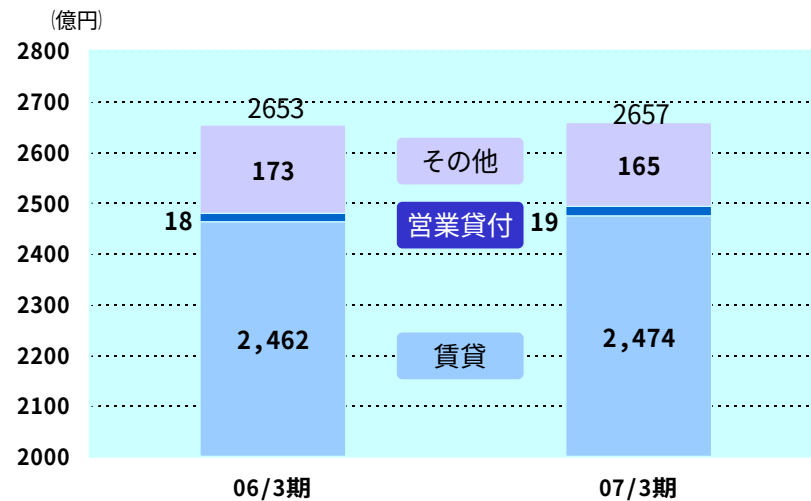
■ 事業別売上高・売上総利益

(単位: 億円)

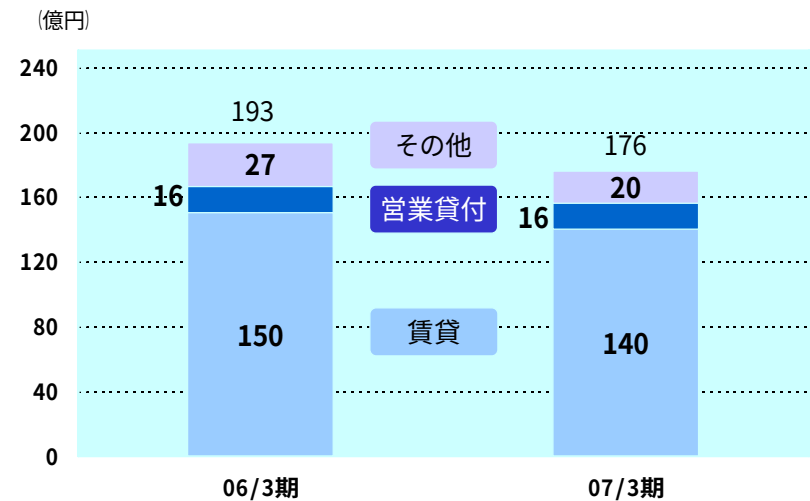
	2006/3期				2007/3期				前年増減	
	売上高	売上原価	資金原価	売上総利益	売上高	売上原価	資金原価	売上総利益	売上高	売上総利益
賃貸事業	2,462	2,275	36	150	2,474	2,289	45	140	12	-11
営業貸付事業	18	0	3	16	19	0	3	16	1	-0
その他事業	173	146	0	27	165	144	0	20	-9	-7
合 計	2,653	2,421	39	193	2,657	2,433	49	176	4	-18

(億円未満四捨五入)

□ 事業別売上高



□ 事業別売上総利益



■ 事業別契約実行高

(単位: 億円)

	2006/3期	2007/3期		
			前年増減	%
賃貸事業	2,501	2,177	-324	87.0%
営業貸付事業	2,194	2,485	290	113.2%
割賦販売	79	124	45	156.9%
営業貸付金	2,115	2,361	246	111.6%
その他事業	32	30	-2	93.8%
合 計	4,728	4,692	-36	99.2%

※検収ベース

(億円未満四捨五入)

■ 機種別賃貸事業契約実行高

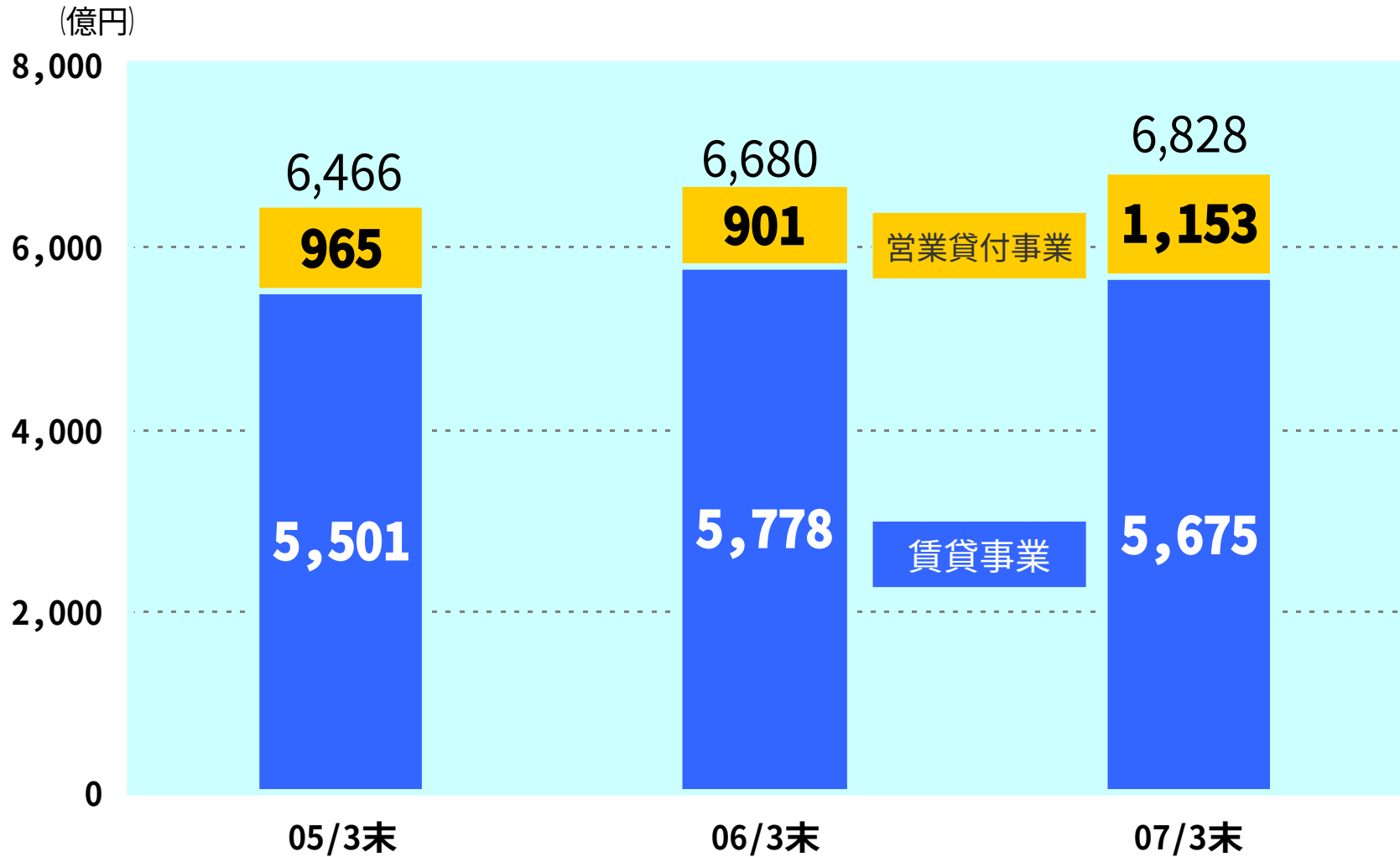
(単位: 億円)

	2006/3期	2007/3期		
			前年増減	%
情報通信機器	1,995	1,725	-269	86.5%
電子計算機及び関連装置	947	787	-159	83.2%
ソフトウェア	881	788	-93	89.5%
通信機器及び関連装置	167	150	-18	89.5%
事務用機器	170	140	-30	82.6%
その他機器	337	312	-25	92.6%
合 計	2,501	2,177	-324	87.0%

(億円未満四捨五入)

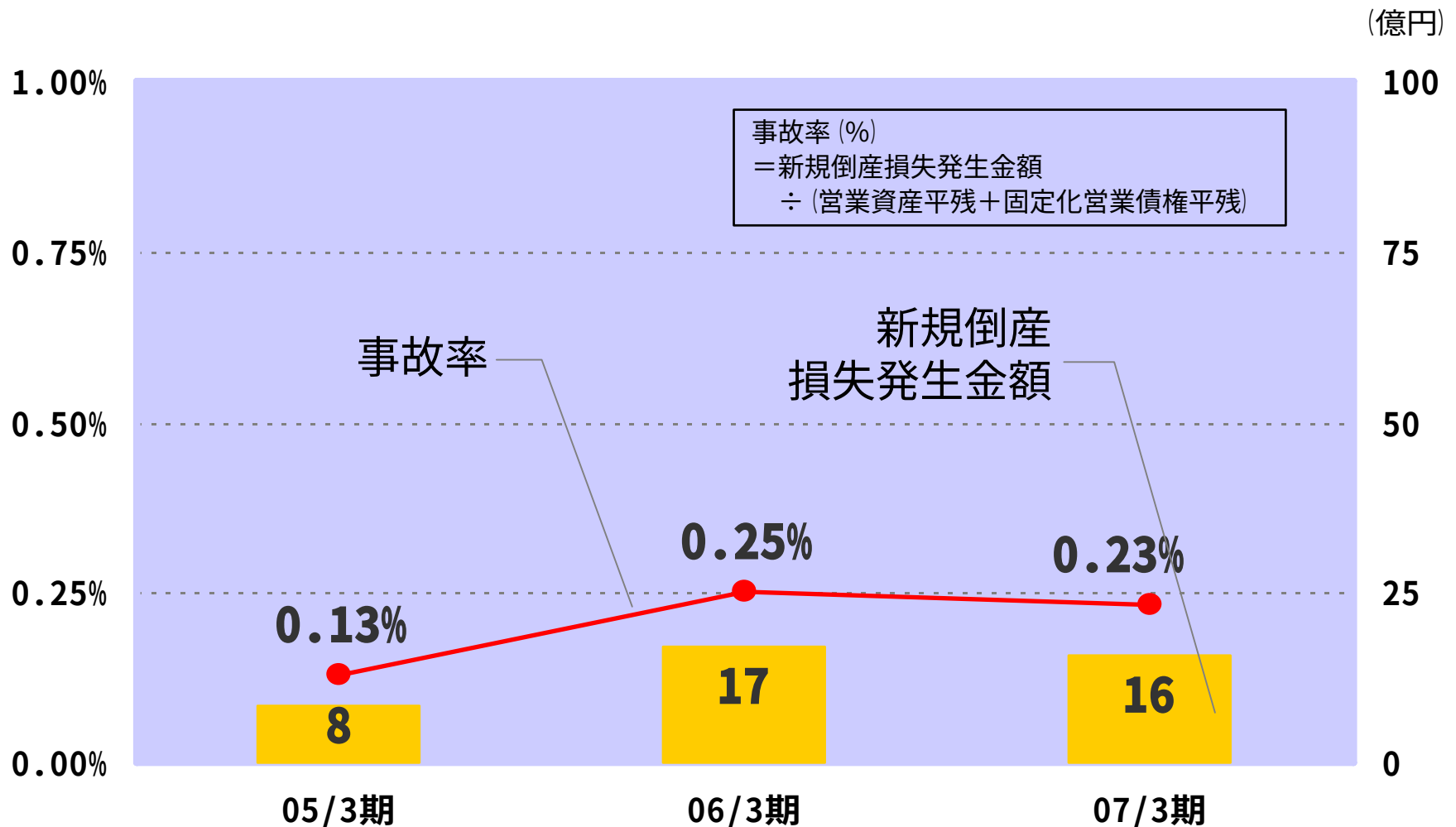
※検収ベース

■ 事業別営業資産残高



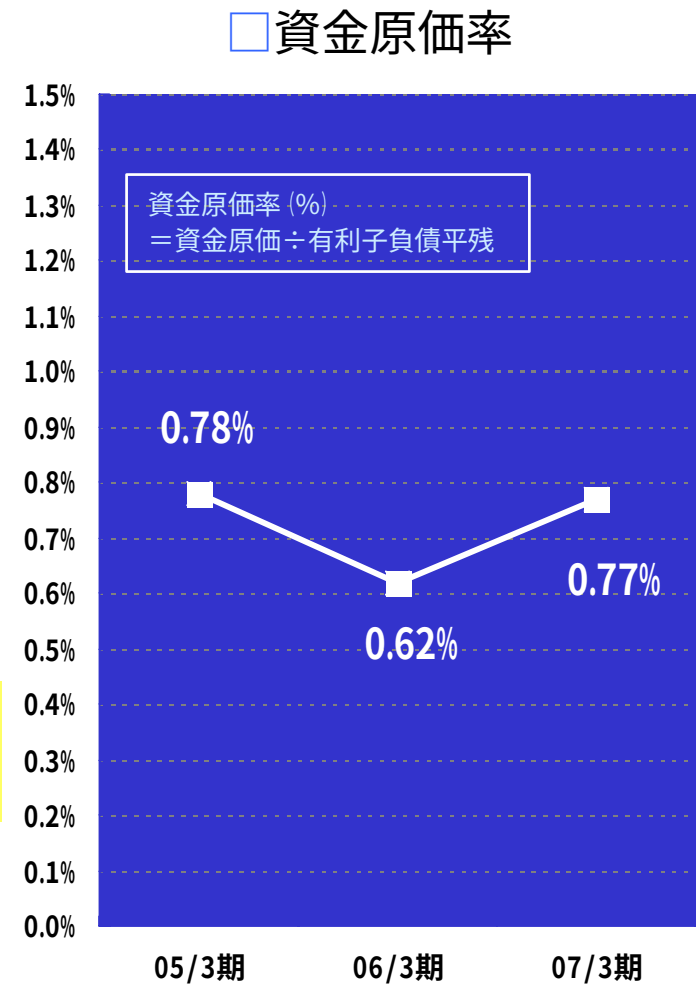
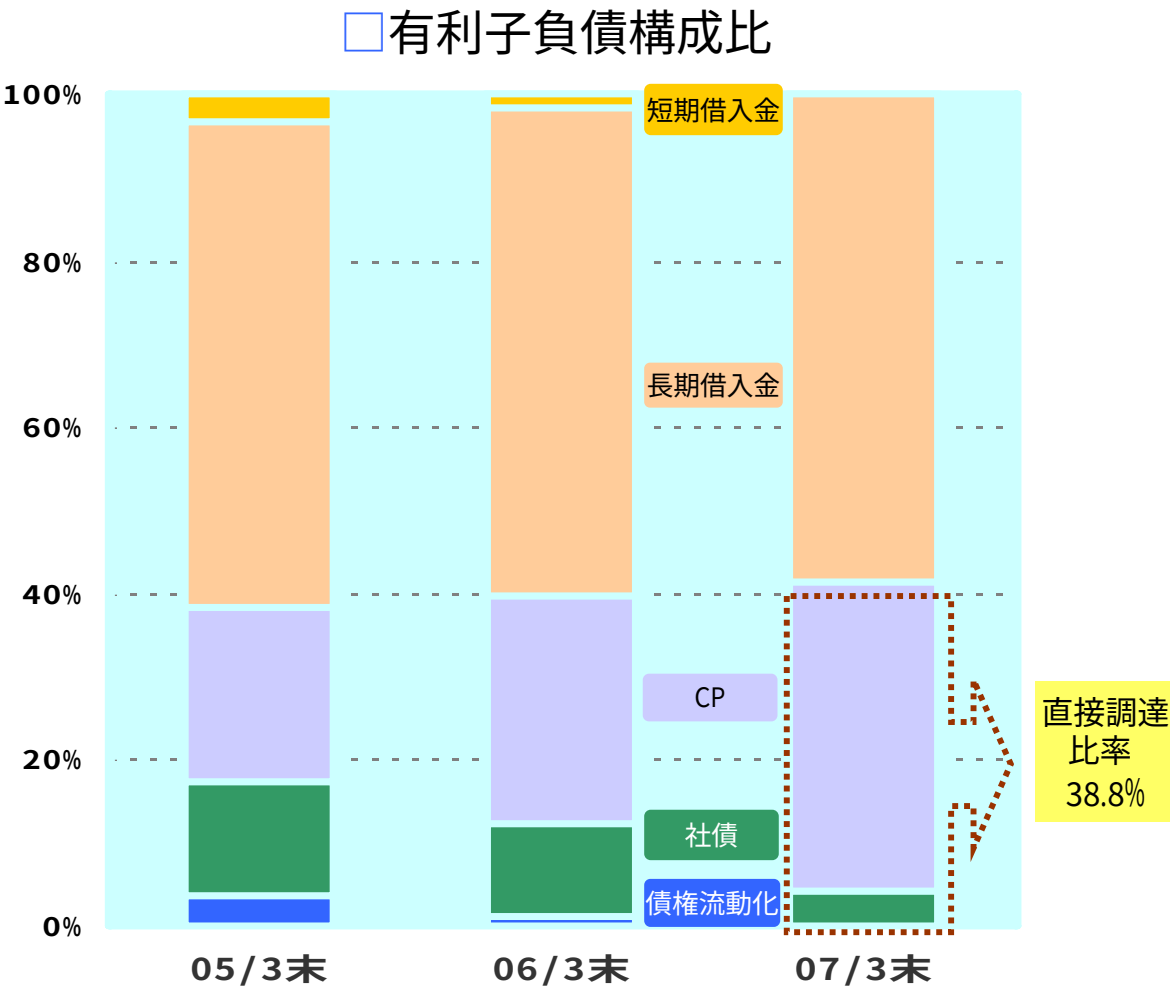
(億円未満四捨五入)

■ 不良債権の状況



(億円未満四捨五入)

■ 資金調達の状況

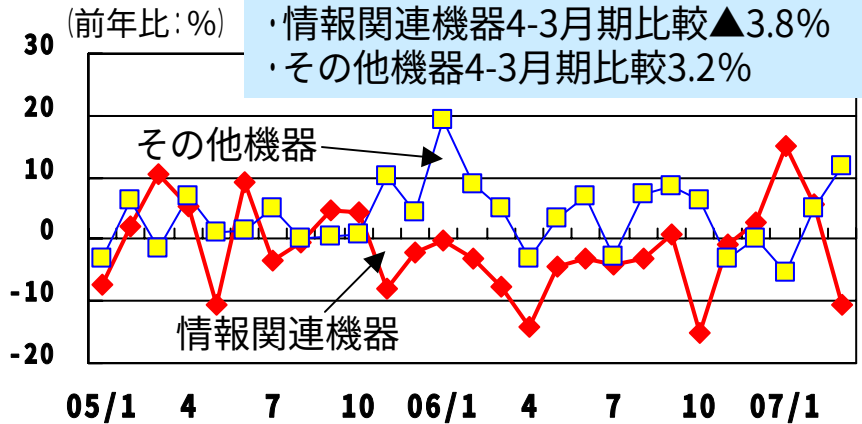
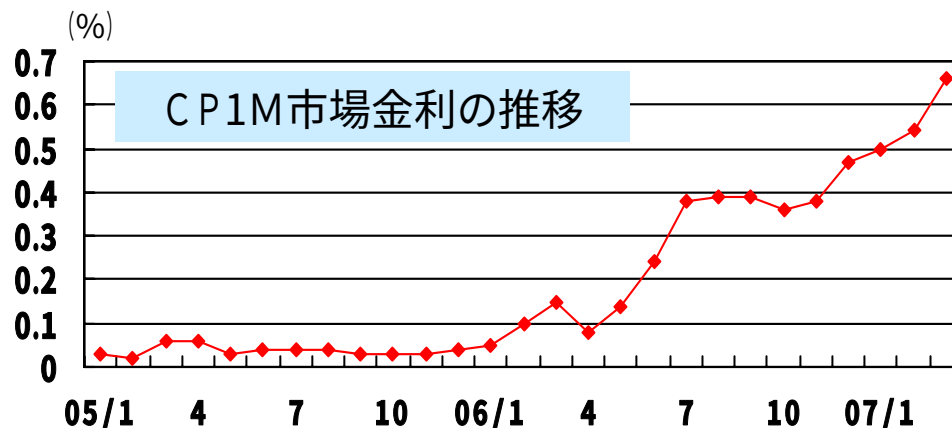


2. 2007年3月期のハイライト

■ 経営環境

新中期計画 逆風の船出

- 金利上昇と転嫁の遅れ
→メーカー系の難しさ(金利下降期にはメリットも)
- 競争環境に一段の厳しさ
→利鞘低下と賃貸事業のボリューム減
- 情報関連機器の回復に出遅れ感
- リース制度・税制変更等先行き不透明感



■ 2007年3月期の成果

(1-1) 営業戦略

a NECグループとの協創

□ ICTソリューションビジネス（レンタル事業、PC-PIT）の拡大

□ NEC事業部との企画レベル連携強化

→ 本社営本企画グループの活動拡大

□ グループ販売店への戦略営業 → 東京営本によるSMB市場開拓

□ 官公庁ビジネスの見直し → 効率的な官公庁営業

b 蓄積された知財・資産の活用

□ クロスセリングツールの準備と営業活動

✓ 生保代理店契約締結

✓ 診療報酬流動化プログラムリリース

□ PC-PITリリース・・・PC販売用ベンダープログラムの組成

□ ウェルシィプログラムリリースと営業本格化

■ 2007年3月期の成果

(1-2) 営業戦略

c 事業ポートフォリオ拡大への挑戦

- 小口リース事業の更なる伸長 → 前年度11%の成長実現
- ICTソリューションビジネスの事業化
→ レンタルビジネスへのチャレンジ
- ファイナンス事業の拡大
→ 高い専門性を要する大型案件の組成が加速

中期計画への取り組みは徐々に成果を上げる



既存事業の落ち込みをカバーしきれず

■ 2007年3月期の成果

(2) 財務戦略

- 柔軟なリスクテイキング

 - 金利上昇インパクト抑制

 - ✓ CP枠拡大 (1600億円→2500億円:期末残高2060億円)

(3) 経営・事業・経費効率化戦略

- コーポレートガバナンスの充実

 - ✓ 独立社外役員導入

 - ✓ 内部統制委員会発足

- SMARTプロジェクト(フェーズ1) 実施

 - ✓ 事務効率改善と営業スキルの継続的向上

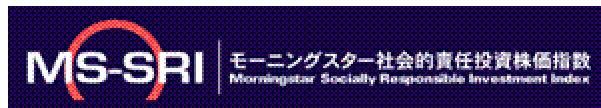
 - 事務効率30%改善期待

- NEEDS (基幹システム) リリース

■ 2007年3月期の成果

(4) CSR経営の更なる向上

- CSR推進部設置
- 社会貢献ガイドライン制定
 - ✓ NPOアサザ基金と連携した学校ビオトーププロジェクト創設
- 社外評価の向上
 - ✓ モーニングスター社SRIインデックス選定
 - ✓ 日経新聞環境経営企業その他金融部門1位
 - ✓ 日本環境経営大賞表彰 表彰委員会特別賞受賞
 - ✓ 資源循環技術・システム表彰
 - (財) クリーン・ジャパン・センター会長賞受賞



3. 2008年3月期 計画

■ 業績予想

(単位: 億円)

	2007/3期 (実績)	2008/3期 (予想)	前年比
売上高	2,657	2,660	0.1%
経常利益	70	75	6.7%
当期純利益	41	44	8.0%
1株当たり当期純利益	189円21銭	204円34銭	

(億円未満四捨五入)

■ 中期計画の現状と今後の方向性

中期計画想定とのギャップ

- 金利上昇の単年度インパクト
- リース業界の競争激化
- 小口リース事業の引当増

中期的対応

- NECとの協創強化・・・メーカー系らしさの追求
- 事業ポートフォリオ拡大加速
・・・ファイナンスリース偏重の是正



中期計画の方向性を維持しつつ、
内容の具体化と加速に注力する

中期計画目標値は撤回

■ 配当予想

1株当たり配当金

	中間期	期末	年間
2008年3月期予想 (2007年4月25日公表)	22円00銭	22円00銭	44円00銭
2007年3月期実績	22円00銭	22円00銭	44円00銭

◆ 事業の安定的成長を背景に、積極的な株主還元を目指す

会社概要

◆商号	NECリース株式会社
◆本社所在地	東京都港区芝5-29-11 NEC住生ビル
◆創業	1978年11月30日
◆純資産	593億円（2007年3月31日現在）
◆上場市場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 8793)
◆代表取締役社長	加藤 奉之
◆主な事業内容	総合リース業 (賃貸事業、営業貸付事業、その他事業)
◆従業員数	477 (2007年3月31日現在)
◆格付 (R&I)	長期:A- / 短期:a-1

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願い致します。